

## 第3回 日本語オペラ制作コンペティション

主催：公益財団法人 さわかみオペラ芸術振興財団

### ◆コンペティション概要

日本語オペラ制作コンペティションは、①台本選考、②作曲選考、③全曲選考、④最終選考の4つの過程を経て、最優秀のオペラ1作品が決定いたします。

台本部門では、その第一段階として優秀な台本作品を公募します。また、続く作曲部門では作曲家を公募し、選考を経て選ばれた作曲家と台本作家とのコラボレーションにより作品を仕上げていきます。

① 台本選考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の設定およびコンセプトをもとにしたオペラ全編の台本を公募する。</li> <li>・台本選考によって選ばれた台本作家（最大5名）を発表し、<b>賞金20万円を贈呈する</b>（著作権譲渡料を含む）。</li> </ul>
② 作曲選考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台本選考通過台本（最大5作品）を一般に公開し、作曲家を公募する。作曲家は公開された台本の中から1作品を選択し、任意で選んだ2場面（2曲）を作曲する。（2曲のうち1曲はアリアとする。もう1曲はデュエットやアンサンブルなどアリア以外の曲を自由に作曲する。）</li> <li>・作曲選考によって選ばれた作曲家に<b>賞金20万円を贈呈する</b>（著作権譲渡料を含む）</li> <li>＊この段階では台本作家と作曲家のコラボレーションはありません。</li> </ul>
③ 全曲選考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲選考を通過した作曲家（最大5名）による制作開始（オペラ全曲）。オペラ全編の作曲の対象となった台本を書いた台本作家は、作曲家に協力し、台本の修正などに対応する。</li> <li>・台本作家には1作曲家への協力につき10万円を制作料として支払う。また、作曲家には全曲作曲料として20万円を支払う。</li> <li>・全曲選考で選ばれた者は最終選考へ進む。</li> </ul>
④ 最終選考 *2023年3月頃(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全曲選考を通過したオペラ数作品を舞台にて試演（オーケストラによるコンサート形式での試演を予定）し、最優秀賞1作品を決定する。</li> <li>・<b>最優秀作賞として台本作家に賞金250万円、作曲家に賞金1,000万円をそれぞれ贈呈する</b>（著作権譲渡料を含む）。</li> </ul>

\*全て消費税込み

### 【コンペティション内容】

- ・台本部門
- ・作曲部門